

更生保護は地域の皆さんとともに

保護司会は「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ」をテーマにさまざまな活動を展開しています。

保護観察対象者の社会復帰を促そうと、名張市と名張保護司会は昨年10月2日に、保護観察対象者を市の臨時的任用職員に雇用する就労支援協定を結びました。こうした協定は三重県では初めてのことです。

名張保護司会から推薦された保護観察中の対象者を6カ月を超えない範囲で、名張市が雇用します。対象者は、その間、民間企業への就職活動を安心して行うこともできます。

非行や犯罪をした人が円滑に社会復帰していくためには就労の場が必要です。名張市が率先して就労の場を提供していただけることで、再犯防止さらには犯罪のない明るい社会の実現に結びつくこととなります。



協定書を交換する亀井市長と中内保護司会長

三重県下初
名張市との
就労支援に
関する協定

生
人はみな、生かされて生きてゆく

発行 名張保護司会
〒518-0718
名張市丸之内9 総合福祉センターふれあい館
☎63757575 FAX 6433349

更生保護ネットワーク

名張保護司会便り

No.21

愛の資金

総額162万6,230円

第63回「社会を明るくする運動」募金は、皆様のご理解とご協力により大きな成果を上げることができました。募金は下の事業に活用させていただきました。愛の資金は各地区を通じて市内の全世帯に呼び掛けご協力をいただいております。ご協力いただいた皆さんに厚くお礼申し上げます。

	平成26年1月末現在
社会を明るくする運動事業	666,753円
保護司会活動費用事業	239,477円
更生保護女性会活動事業	120,000円
名張BBS会事業	50,000円
更生保護大会	300,000円
県更生保護事業助成	250,000円



保護司会はこのような活動を通じて、学校との積極的な関係づくりに心掛けています。



南中学校訪問
身近な犯罪から身を守るには

夏休み前の昨年7月19日、保護司会の20人が、南中学校の全校集会に参加しました。当日は名張警察署生活安全課の水上係長から「日ごろから気をつけること、夏休みに向けての注意」という内容

南中学校訪問

身近な犯罪から身を守るには

題して、長崎の社会福祉法人南高愛隣会理事長の田島良昭さんの基調講演がありました。田島さんは、再犯を繰り返す人の中に、高齢者や障害者が存在する事実を衝撃を受けました。彼らの社会復帰を目指すため、地域生活支援センターの設置を国に提言したことなどを話しました。提言した施設は、地域定

着支援センターとして47都道府県すべてに設置されています。

第2部は「更生保護に関する関係機関の連携」についてパネルディスカッションを行いました。コーディネーターは亀井市長が務め、田島さん、津保護観察所長、三重県地域生活定着センター所長、三重県労働局職業安定部長、津更生保護協力雇用主会副会長が、それぞれの立場から、受刑者の立ち直りのための生活支援や福祉サービス、就労などの現状と課題について意見交換をしました。



更生保護シンポジウム
受刑者の立ち直りを支えるために

更生保護女性会

名張更生保護女性会は「温かい心、細やかな思いやり」を大切に、明るい地域づくりに取り組み活動している女性ボランティア団体です。市内の小・中学校の早期あいさつ運動、子育て支援、地域との連携を深めるためのミニ集会、三刑事務所や更生保護施設への物心両面にわたる援助、協力など、多岐にわたる活動をしています。

協力雇用主会

犯罪や非行をした人が就職し、責任ある社会生活を営むことは、立ち直りに向けた大きな一歩になります。協力雇用主は、前歴にこだわらず積極的に雇用し、対象者の改善・更生に援助、協力する事業家です。

BBS会

BBS会とは、問題を抱える少年たちと兄や姉のように接し、少年が自分で問題を解決し成長するための支援をし、犯罪や非行のない地域社会を目指す青年ボランティア団体です。

名張BBS会は、ライブコンサートやBBSクラブという中高生による活動など全国にも例のない活動を展開しています。

更生保護を支えるボランティアの皆さん